

**製品名: PGA5 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80778**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PGA5
別名	Pepsinogen 5; Pepsin A
遺伝子 ID	5222.0
SwissProt ID	P0DJD9
免疫原	大腸菌で発現したヒト PGA5 の精製された組み換え断片。

**背景**

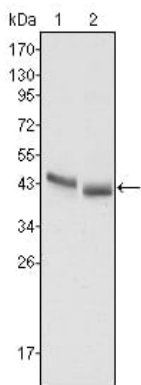
PGA5: ペプシノーゲン 5、グループ I (ペプシノーゲン A)。ペプシノーゲンは、胃に存在する主要な酸性プロテアーゼであるペプシンの不活性前駆体です。ペプシンは、胃粘膜から分泌される主要なタンパク質分解酵素の一つです。ペプシンは単一のポリペプチド

鎖で構成され、前駆体であるペプシノーゲンの N 末端から 41 個のアミノ酸が除去されて生成されます。ペプシノーゲンは胃粘膜で合成されますが、胃粘膜で産生される塩酸は、不活性酵素を変換し、ペプシンの機能に最適な酸性度 (pH 1~3) を維持するために必要です。ペプシンは、芳香族アミノ酸を含むペプチド結合の切断に特に効果的です。ペプシンは非常に幅広い特異性を示し、フェニルアラニンとロイシンを含む結合が優先されますが、他の多くの結合もある程度切断されます。PGA5 はペプシンファミリー A1 サブファミリーに属し、脊椎動物の胃液中に存在する主要なエンドペプチダーゼです。PGA5 は子宮セリンプロテアーゼである ovUS-1 によって阻害されます。

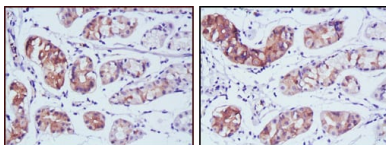
## 研究分野

-

## 画像データ



HepG2 (1) および SMMC-7721 (2) 細胞溶解物に対する PGA5 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



PGA5 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。